

Topic1 防災

大規模災害に備え、対応できる防災力！

佐賀・長崎県境の幹線道路ネットワークは、**西側ルート**と**東側ルート**で構成されています。
東側ルートの幹線道路は国道207号のみであり**有明海沿岸道路地域における安全保障のエッセンシャルネットワーク※1**の構築が必要不可欠です。

西側ルート

長崎自動車道 および 国道34号
幹線道路2路線が近接している。

広範囲災害時は**2路線が同時に機能不全になる可能性あり**

西側移動所要時間
武雄北方IC⇄諫早IC

約34分(通常時)
※設計速度100km/hにて計算
(東そのぎIC～嬉野IC間のみ80km/h)

東側ルート

国道207号のみ (生活エリアを通過する2車線道路である。)

幹線道路としての**走行性が低い**

国道207号のみで災害時の**リダンダンシーが確保されていない**

至 福岡
至 長崎
国道34号冠水発生状況

R3年度の大雨では国道34号・国道207号など幹線道路の冠水により通行止めと大規模な迂回が発生！

東側移動時間 武雄北方IC⇄諫早IC

約**109分** [現況] ⇄ 約**53分** [整備後] ⇄ 約**56分** 短縮

※R3全国道路街路交通情勢調査より算出 [昼間12h平均旅行速度 (整備後は80.0km/hで計算)]

期待される効果 災害時のリダンダンシー強化 (東側ルートに対する幹線道路ネットワークの形成)

※1：人口減少や大規模災害リスクの中社会基盤を支えるためにならなくてはならない交通網。

Topic2 医療

『地域医療』を支える、救命救急搬送！

佐賀県医療センター 好生館 (第3次救急医療機関)

嬉野医療センター (第3次救急医療機関)

鹿島市 鹿島消防署 太良分署

太良町

長崎医療センター (第3次救急医療機関) 諫早市

県央消防本部 高来分署

約45km

約60km

約45km

出動場所 X

有明海沿岸地域の鹿島市・太良町・諫早市は、直近の**第3次救急医療機関までに1時間以上**を要します。第3次救急医療機関は生命に危険が及ぶような重症・重篤患者に対応する救急医療機関であり、**救急搬送が不可欠**です。

直近の第3次救急医療機関までに1時間以上を要するため、一刻を争う状況では長時間に及ぶ搬送時間が心配

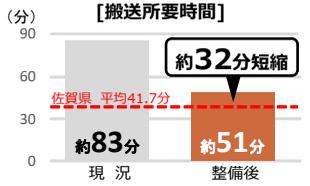


搬送時の加減速やカーブを走行する際の横揺れなど走行には患者への細心の配慮を要するため、ドライバー及び患者への負担が心配

太良町 (太良分署) ▶ 現場 ▶ 嬉野医療センターへの搬送



太良町 (太良分署) ▶ 現場 ▶ 佐賀県医療センター好生館への搬送



諫早市 (高来分署) ▶ 現場 ▶ 長崎医療センターへの搬送



※R3全国道路街路交通情勢調査より算出昼間12h平均旅行速度 (整備後は高規格道路区間については80.0km/hで計算)
※佐賀県・長崎県平均の出典：R5年版救急・救助の現況 [総務省(消防庁)]

期待される効果 第3次救急医療機関までの所要時間短縮 また、走行性の改善により患者への負担軽減に寄与